

私たちの移動を支える 福塩線の運転士

私たちのまちを通る唯一の鉄道「福塩線」。
交通で私たちの暮らしを支えています。
その運行を担っているのが、運転士の皆さんです。
その仕事に込められた思いとは。
インタビューのその先の知られざる福塩線の魅力をお届けします。

PROFILE プロフィール

藤井宏さん（41歳）

出身：広島市
経歴：2003年に入社後、
駅員・車掌を経て、
2007年に運転士に
プライベート：
2児の父。休みの日は釣りも。

福塩線の基礎知識

- ・全線開通：1938（昭和13）年
- ・総距離：78.0km（福山駅～塩町駅）
- ・1日の運行本数
福山駅～府中駅...1時間に1・2本（朝夕は3・4本）
府中駅～三次駅...1日5往復
福山駅～府中駅は電車、府中駅～三次駅は軽油で動く気動車！



Interview 01 -インタビュー-

Q1. どんな思いで 運転されていますか？

お客様を安全に目的地へお届けするため「安全」を一番に

特に福塩線は大雨や倒木、落石、落ち葉など、
自然のトラブルが起きやすい路線です。運転中は
周りの様子にしっかり目を配り、少しでも「危ない」
と感じたら、まずは列車を止めて安全を確かめ
ます。どんなときも焦らず、お客様の安全・安心
を守る運転を心がけています。

お客様の「ありがとう」が原動力

府中駅～三次駅は全て「ワンマン運転（乗務員が運転士1人のみの運行）」
のため、お客様との距離が非常に近いです。降車されるお客様から「あり
がとう」と直接笑顔で声をかけていただけた瞬間に、大きなやりがいを感じ
ます。通学の学生や高齢者など、地域の方々の毎日の移動をすぐそばで
支え、温かい繋がりを感じられることが、この仕事を続ける何よりの原動
力です。



運転席に座る真剣な表情の藤井さん
と、マスコン（車でいうところ
のアクセル）を握る手元から緊張
感が伝わります。

運転士のとある1日

12:21 出勤点呼

アルコールチェックや
備品の準備など

12:36 ～ 17:22

三次駅⇄広島駅
乗務

19:05 ～ 20:51

三次駅⇄府中駅
乗務

21:13 ～

府中駅で
お風呂、仮眠

翌朝 4:40 ～

点呼、準備、
車両点検

5:13 ～ 7:13

府中駅⇄三次駅
乗務

7:47 ～ 9:06

三次駅⇄備後庄原駅
乗務

9:33

終了点呼
備品返却・報告など

※随時休憩などを含む

車両を動かす
「楽しさ」が
ある仕事です！

Interview 02 -インタビュー-

Q2. 独断と偏見で選ぶ、グッとくる瞬間は？

運転士が思わず心を動かされる、福塩線の風景・駅。あなたもきっと見たくなるはず。



朝日を浴びる府中市内

「芦田川の鉄橋を越えると
朝日に輝く府中市内の風景が
広がります。『まちにやってき
た』と感じる瞬間です！」

7:48頃、府中駅に向かう車両

谷合の四季を感じる中畑駅

「山と川に挟まれた中畑駅では、春は
桜、初夏には蛍が見られます。清流のせ
せらぎと蛍の光は格別。夜の車内から見
ることができるかもしれませんよ！」

4月の中畑駅



福塩線最高地点の上下駅

「落ち葉の時期は、備後矢野駅～上下駅に
かけて細心の注意を払って運転しています。個
人的には『登りきった！』と安心感が感じら
れる駅です」

標高383mに位置する上下駅

八田原トンネルの出口

「河佐駅～備後三川駅間の西日本ローカル
線最長のトンネルを抜けると、マイナスイオ
ンたっぷりの河佐峡の大自然が広がります」

全長6,123mもある

八田原トンネルを抜けた場所の景色



市内を走る 福塩線の区間

